



ダブルス優勝 L・クムクム選手とP・プリプエチ選手



高崎国際オープン

世界初の2週連続W100大会

2週目 フォトレポート



シングルス優勝 バイ・ジュオシュエン選手(右)



国際テニス連盟(ITF)が管轄する女子ワールド・テニス・ツアーの大会「高崎国際オープン」の2週目が、11月20日〜26日に清水善造メモリアルテニスコートで開催されました。1週目に続き、各国プレイヤーが世界ランキング上位を目指して激突。25日のダブルス決勝戦はタイのL・クムクム選手とP・プリプエチ選手のペアが、26日のシングルス決勝戦は中国のバイ・ジュオシュエン選手がそれぞれ戦いを制し、優勝を手にしました。



選手や関係者をおもてなし 歓迎レセプションを開催しました

11月20日、選手や関係者を招いて歓迎レセプションを開催しました。富岡市長は「2週連続のITFのツアー大会で、市民も大変楽しみにしています。選手の皆さんの素晴らしいプレーを期待しています」とあいさつ。日本テニス協会の川延尚弘副会長は「この大会は、今後のグランドスラム大会やパリ五輪などに向けた非常に重要な大会です。高崎の皆さんの支援に感謝します」と応じました。

レセプションでは、各国の選手たちが笑顔で交流。記念撮影が行われるなど、試合を前に互いの絆を深め合いました。



大会の様子を動画でも

市のYouTube公式チャンネルで大会の様子が動画で見られます

